



第47回日本基礎老化学会シンポジウム

～栄養・代謝から見た老化制御機構～

2026年12月19日(土) 13:00-17:00

富山駅前CiCビル5F
大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」

シンポジウム世話人

中川 崇
富山大学学術研究部医学系
分子医科薬理学講座

第 47 回日本基礎老化学会シンポジウム

テーマ 栄養・代謝から見た老化制御機構

世話人 中川 崇

富山大学学術研究部医学系分子医科薬理学講座 教授

シンポジウム演者

水沼 正樹（広島大学）

中村 修平（奈良県立医科大学）

森 雅樹（国立成育医療研究センター）

赤木 一孝（富山大学）

中川 崇（富山大学）

日程 2026 年 12 月 19 日(土) 13:00–17:00

会場 富山駅前 CiC ビル 5F 大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室
〒930-0002 富山県富山市新富町 1-2-3



JR 富山駅・あいの風とやま鉄道富山駅から徒歩 2 分
富山空港からは富山空港線バスで終点富山駅まで 25 分

第 47 回日本基礎老化学会シンポジウム 世話人挨拶

シンポジウム世話人 中川 崇

富山大学学術研究部医学系分子医科薬理学講座



この度、第 47 回日本基礎老化学会シンポジウムを富山にて開催させていただくこととなりました。日本基礎老化学会の会員の皆様をはじめ、多くの皆様に富山の地にお迎えできますことを心より嬉しく思っております。

今年度のシンポジウムのテーマは、「栄養・代謝から見た老化制御」といたしました。老化は、生物が生涯を通じて経験する普遍的な生命現象であり、その本態の解明は基礎医学・生命科学のみならず、健康長寿社会の実現に向けた重要な課題となっています。近年、老化研究は目覚ましい進展を遂げており、「Hallmarks of Aging」に代表されるように、多様な視点から老化の分子基盤や制御機構に対する理解が深まりつつあります。その中でも、栄養や代謝は生命活動を支える根幹的なシステムとして、老化の進行や寿命制御に深く関与することが明らかになってきました。

エネルギー代謝、栄養応答シグナル、ミトコンドリア機能、オートファジー、さらには代謝産物による細胞機能制御など、多様な栄養・代謝機構が老化や加齢関連疾患と密接に結び付いています。また、これらの研究成果は老化メカニズムの理解にとどまらず、健康寿命の延伸や加齢関連疾患の予防・治療を目指した新たな介入法の開発にも大きな期待をもたらしています。

老化研究はこれまで、酵母、線虫、ショウジョウバエ、魚類、マウスなどの様々なモデル生物を用いた研究によって大きく発展してきました。種を超えて保存された栄養・代謝制御機構の解析から、寿命や健康寿命を規定する数多くの分子メカニズムが明らかにされてきています。本シンポジウムでは、「栄養・代謝」という切り口から老化研究の最前線を俯瞰するとともに、様々なモデル生物を用いた分子・細胞・個体レベルにわたる研究成果について活発な議論を行いたいと考えております。

本シンポジウムでは、栄養・代謝と老化研究の分野を牽引する先生方をお招きし、それぞれの視点から最新の知見をご紹介します。専門領域や研究対象を超えた交流を通じて、新たな研究の展開や共同研究の契機が生まれることを期待しております。また、若手研究者や大学院生の皆様にとっても、新たな発想や研究の方向性を見出す貴重な機会となれば幸いです。

開催地である富山は、立山連峰から富山湾へと続く豊かな自然に恵まれた地域です。ささやかではありますが、シンポジウム終了後には懇親会も企画しております。学術的な交流はもちろんのこと、富山ならではの冬の味覚や食文化に触れていただきながら、参加者同士の親睦を深めていただければ幸いです。

最後になりましたが、ご多忙の中ご講演をお引き受けいただいた先生方、本シンポジウムの開催にご尽力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。本シンポジウムが実り多い学術交流の場となり、老化研究のさらなる発展と新たな連携の創出につながることを願っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。